



事務局 〒069-0854
江別市大麻中町 26-19
カルム大麻 406
佐々木孝一 気付
011-387-1239

発行責任者
会長 竹田 正直
北海道大学教育学部同窓会

学部近況



教育学研究院長・

教育学部部長

横井 敏郎

本年三月で宮崎隆志教育学研究院長(学部長)は任期満了となり(二期四年間)、四月より当方が教育学研究院長(学部長)を務めることになりました。二年間の任期ですが、どうぞよろしく願います。

さて、二年半前に発生した新型コロナウイルス感染症の流行は本学の教育と研究に大きな影響を及ぼしました。流行が始まった二〇二〇年度は授業の大半がオンラインでの実施となり、当時の一年生はほとんど大学に來ないまま一年間を過ごすことを強いられました。二〇二一年度も高い比率でオンライン授業が行われました。

しかし、感染がやや落ち着いた様子を見せた今年度は、全

学方針の下、ほとんどの授業が対面で行われています。ようやく教育学部や人文・社会科学総合教育研究棟(W棟)の校舎には学生院生たちの姿が毎日見られるようになり、賑わいを少し取り戻しています。研究活動の方も調査や実験、研究会などもできなくなりましたが、少しずつ進むようになってきています。

この一年間、教育学部教員の入れ替わりはありませんでしたが、二年前に博士後期課程を修了した孫詩彧さん(教育福祉)がアンビシャス特別助教として新たに着任しました。これは本学が若手強化のために置いた全学ポストです(今年度一〇名、任期二年)。これに教育学部修了生が採用されたことは本学部の研究教育が評価されたことを表し、たいへん喜ばしいことと考えております。

いま日本の研究力の低下が政界や経済界で議論になり、国は博士人材増加のための対策に乗り出しています。昨年度から文部科学省と科学技術振興機構が創設した博士人材フェローシップに本学も応募し、採択さ

れました。これにより本学では総数五〇〇名以上の博士後期課程院生が生活費一五万円/月、研究費四〇万円/年を得て勉学に専念することができるようになっています。教育学部からも一〇名以上の院生が採用されています。

いま教育学部教員三六名のうち、六〇歳以上が一〇名で全体の三割を占めるようになっていています。かつては助手が一〇名もいましたが、いまは助手・助教もほとんどいなくなり、大きく様変わりしています。教員の高齢化は教育学部だけのことでなく、全学的な問題となっており、大学本部では若手教員(四〇歳未満)の比率拡大を目標に掲げています。教育学部でもこれまでの教育と研究の特色を守りながら、教員の若返りを図り、充実した体制をつくるための議論を始めています。

同窓会には入学式や卒業・修了式での励ましのメッセージやご寄付、学生院生への貢献賞の創設など、多大なご協力をいただいております。特にコロナ禍においては学生院生の困窮も

発生し、卒業生のみならずからは多大な寄付をいただき、あらためて感謝申し上げます。教育学部では同窓会との連絡をより密にするよう、今年度より社会連携委員会を担当に位置づけました。

新型コロナウイルス感染症流行はいまだ収束したとはいえません。卒業生のみならずにはご自愛いただきながら、充実した毎日をお過ごしになられるよう祈念するとともに、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

学部だより

社会連携委員会が窓口

学部近況にもありますが、同窓会の窓口は学部の社会連携委員会が位置付けられました。柚木孝敬先生が担当者です。早速、同窓会のホームページの更新が提案されました。北大のホームページから入ることが出来ます。「同窓会だより」の既刊分はここから閲覧することができます。

令和四年度

北海道大学教育学部同窓会総会

日時…2022(令和四)年9月24日(土)

16:30

会場…文系共同講義棟

(軍艦講堂) 一番教室

参加希望者は9月20日までに事務局まで連絡ください

さい

同窓会報送付時の同封はがきまたは次のメールアドレス sakau10826@outlook.jp

その場合は住所、氏名、卒業年次、TEL等を記してください。

対面での開催を予定していますが、感染症の拡大などの状況によっては文書総会に変更される場合があります。

多額の財政支援に感謝いたします

北海道大学教育学部同窓会長

竹田 正直

昨年、『同窓会だより』第三九号において、「コロナ禍による学生支援緊急募金五〇〇万円」の達成と協力に感謝しつつ、他方で、

同窓会費納入が減少し、一般会計が赤字となり教育貢献賞特別会計とあわせても残額が、五二、八〇四円であることを率直に訴え、会



学位授与式、今年は対面が多く、女子の和服姿が目立った

費納入の向上とご支援をお願いいたしました。

同窓会の皆さんが、この訴えに応えてくださり、会費が過年度分を含め二五二名の方から五〇万四千円、支援金が百一四名の方から六五万二千円、教育貢献賞基金にも六八人の方から一八万六千円いただき、その他、有形・無形のご支援や激励をいただき誠に有難うございます。

おかげで、後に、佐々木孝一幹事長代行の会計報告で分りますように、一般会計も特別会計も大幅な黒字で『同窓会だより』第四〇号の発行を迎えることができました。『同窓会だより』第四〇号は、昨年の第三九号のように減頁することなく増頁で発行できました。



同窓会が用意した卓花

ただ、ご住所の判明している会員に発送している千六百余名の発送数全体からすると、会費納入はまだ二割弱ですので、引き続きより多くの同窓生の方々の会費納入や教育貢献賞基金、支援金へのご配慮をお願い致します。

学位記授与式

二〇二一年（令和三年）

度教育学部・教育学院学位記授与式が、二〇二二年三月二四日（木）午後一時半から文系共同講義棟八番教室（いわゆる「軍艦講堂」二階）で挙行され、佐々木孝一幹事長代行と会長の竹田が招かれ参列致しました。

演壇横には同窓会からの卓花が飾られていました。初めに、宮崎隆志教育学研究院長、教育学院長、教育部長から、学士四八名、修士三九名、博士四名、計九一名に、一人ずつ学位記が授与され、次いで、宮崎学院長の式辞がありました。コロナ禍までは、その後同窓会長竹田が祝辞を述べていましたが、コロナ後は時間短縮のため、あらかじめ祝辞を事務所に送り封書に入れて欠席者を含め全員に配布されました。その他同窓会からは全卒業・修了者に『同窓会だより 第三九号』と同窓会入会についての案内文書を配布しました。

教育貢献賞と学年幹事

また、教育貢献賞を、学部・学院の社会連携委員会が各教員の推薦を審査し、宮崎学院長より同窓会に推薦された松林あかねさんへ竹田より副賞（図書券二万円）とともに授与致しました。学年幹事は松林あかねさんと栗林健さんです。

表彰文

教育貢献賞

北海道大学教育学部四年

松林あかね

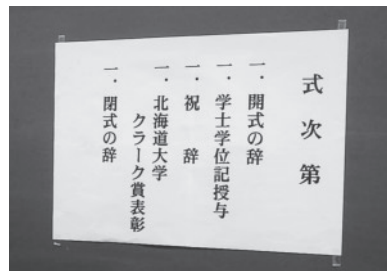
貴方は陸上競技部副将として、コロナ禍の厳しい中、昨年八月の第七三回北海道学生陸上競技対抗選手権大会（女子四×一〇〇R）で優勝し、九月の第九〇回全日本インカレに出場しました。この多大なスポーツ貢献に対し、崎田嘉寛先生と社会連携委員会及び宮崎隆志学院院长・学部長の推薦により、学部創立七十周年記念教育貢献賞と副賞を贈り表彰致します。



松林さんに教育貢献賞を会長から授与

二〇二二（令和四）年三月二十四日
北海道大学教育学部同窓会
会長 本学名誉教授
教育学博士 竹田 正直

一昨年の卒業式は、コロナ禍のため、教育学部二階小会議室で、ドアと窓を全開し、学部、修士、博士の総代三名と教育貢献賞受賞者のみ、教職員も五名ほど、それに同窓会二名という小規模なもので、希望者にはオンライン配信をしていました。昨年は今年と同じ会場で参加者はまだ少なかったのですが、今年は、七、八〇名は参加したと思われる。和装、洋装のいつもの華やかな雰囲気に戻ってきていました。祝賀会は今年も中止でした。



学位記授与式次第



式後に記念写真の撮影も

北大校友会エルム

北海道大学校友会エルム

(全学学生、院生、教職員、同窓生等加入、会長杉江和男氏、一括会費二万円)は、二〇二二(令和四)年一月二六日に二〇二一年度第一回理事会を、対面(百年記念会館)とオンライン併用で行い、理事として竹田がオンラインで参加致しました。理事会では学部や地域の基礎同窓会活性化への支援、コロナ禍での新たな学生支援策、寄付金獲得方策、卒業生連携ネットワークシステム等を検討致しました。校友会エルム第二回理事会は、五月三〇日に対面(ファカルティハウスエンレイソウ二階第一会議室)とオンラインであり、竹田がオンラインで出席しました。内容は、総会内容の討

議と新会員加入促進についてでした。

校友会エルムの総会は、六月八日(水)一五・三〇〜一七・〇〇、百年記念会館での対面とオンラインの併用で行われ、佐々木孝一幹事長代行が評議員として対面で、竹田は理事としてオンラインで参加致しました。事業報告、決算報告、新年度事業計画と予算が議題で承認されました。二〇二一年度の学生会入会は六六三人(入学者の二六割)です。学生会員支援策として、①TOEIC、TOEFL試験の受験料四、九〇〇円〜七、八〇〇円を校友会が負担(年一回、卒業まで四回可能、実績七八五名)。②一〇〇円朝食助成支援新入会員一名につき、二〇食利用可能(実績一、六三六

食)その他。エルム会員学部同窓会加入促進支援初年度のみ一人当り三、〇〇〇円支援、三九三名。校友会エルムから一八、二五〇、〇〇〇円を北大フロンティア基金に寄附しています。なお、エルム会の主たる収入は、学生、院生の就職のための企業説明会「企業研究セミナー」の開催(令和四年三月一日〜五日ZoomによるWEB開催)で、それへの企業の参加費一六五、〇〇〇円(税込)が三〇〇社です。

厳しい状況の中で

コロナ禍は一層厳しい状況になりつつあります。二〇二二年七月二〇日には、全国の一日の感染がこれまで最大の二五・五三五五人(内北海道二、〇六〇人、内札幌六五二人)となり、第七波突入と言われております。同窓生の方々の家族、親戚、知人にもコロナの感染や亡くなった方がおられるかもしれません。心からお見舞いと哀悼の意を表します。コロナではありませんが、同窓会副会長の大野雅弘さんが本年五月に亡くなりましたが、他の同窓会員

でご逝去された方々を含め、ご遺族の皆様にお心よりお悔やみと生前のご協力に謝意を申し上げます。

皆さんもコロナワクチンを何回も注射したと思いますが、次々と変異株が生まれ今は「BA.5」に置き換わりつつあると言われております。四回目のワクチン接種者は五四三万余人でまだまだ低率です。私の四回目は八月下旬の予定です。

高齢者などに遅いのは、昨年二〇二一年五月一七日に重い肺炎で北大病院第二内科(昨年一〇月から「リニューマチ・腎臓内科」)

に入院し主治医の渥美達也教授(今年四月より病院長)はじめ医師、看護師、同補助員、作業療法士の方々の献身的な温かい的確な治療で危機を脱し、徐々に回復して昨年八月一二日に退院できました。コロナで面会中止でしたが、一時は家族を病室に呼ぶ危機もありました。

昨年の『同窓会だより』第三九号の原稿は病院で書きました。退院時は、「要介護5」でしたが、退院後、医師、訪問介護の方々や家族のおかげで、渥美教授が

「驚異的快復」と言って下さるほどよくなり、この六月からは「要介護1」になり、四ランク改善しました。毎朝、百合が原公園を散歩し、研究会やシンポジウム、同窓会や国際友好団体の会議などはオンラインで参加しております。コロナワクチンの接種は、昨年の入院のため、第一回目から順送り遅れてきて八月下旬の第四回目の予約日を待つております。(二〇二二年七月二二日記)

北海道大学ホームカミングデー

2022

主催…北海道大学
共催…北海道大学校友会エルム
日時…2022(令和四)年9月24日(土)
開催場所…学術交流会館講堂
全学行事

北海道大学交響楽団による演奏(9:50)
歓迎式典(10:00)
来賓挨拶(10:25)
記念講演会(10:40)
学生による活動報告(11:25)
歓迎応援団によるステージ『都ぞ弥生』(11:40)

詳細はホームページで確認してください
ホームページ
<https://www.hokkaidoudaigaku.ac.jp/home/2022/>

文系四部局合同企画
講演会「北海道開拓と集治監」

講師 櫻庭誠二氏(月形樺戸博物館名誉館長)
時間 14:00〜16:00
オンライン開催 参加費無料、申込不要
参加方法等は北大HP等で告知
法学部主催

問い合わせ 〇一一七〇六一三一八

会員短 信

会員短信はこれから五ページあります。昨年九月から到着順に掲載しました。

「氏名」「卒業年次」「現住の都市名等」と記入のコメントの順です。文字、数字、送り仮名など原文のとおりです。

#印は振込用紙に記載されたものです。

「掲載不要」と添え書きのあった分については掲載していません。

はがきのみの返送の方についても無事の連絡と理解し掲載しました。

学内の季節の移りかわりの写真とともにごらんください。

○鈴木 里津子（一九七八年卒）札幌市中央区

健康でいることが社会貢

献につながると思い栄養・運動・睡眠のバランスに留意しつつ、触れあう子どもたちの成長を楽しませてもらっています。

○田尾 直之（一九六一年卒）札幌市厚別区

宮崎さんへ 学部長就任おめでとう。

小生は85才にしてリュウマチとなり漁協センターの仕事もできなくなりました。

○菅 洋一（二〇〇六年卒）札幌市北区

旅行に行けないのが残念ですが、引きこもり生活はそれなりに楽しいです。

○渡部 秀清（一九七二年卒）東京都杉並区

教基法を改悪し、戦前回

帰を図ったアベ、そしてスガがいずれも自滅しました。そうした流れに反対した人々の勝利です。小生、本年三浦梅園の『玄語』の拙い現代語訳を完成させました。

○高橋 英一（二〇〇一年卒）東京都豊島区

統括者からデジタル庁に

出向し、政府全体のデジタル人材の確保、育成に携わっています。

○井上 弘子（二〇〇〇年卒）札幌市北区

○井沼 淳一郎（一九八二年卒）大阪府狭山市

コロナ禍で、オリンピックの年に行われる予定だった教育社会学ゼミの同窓会も延期になったままです。懐かしい先輩や友に再会できる日を心待ちにしています。

○伊藤 則博（一九六二年卒）札幌市厚別区

この9月で82才になりました。

『思えば遠くへ来たものだ』です。

○橘内 哲也（一九五五年卒）札幌市厚別区

同窓会だより39号にて、多米豊・忍博次両先輩の元気な様子を拝見、うれしい

限りです。体調管理十分にお過ごしの上、次回紙面にて再会することを楽しみにしております。

当方、家庭菜園インゲン、トマト、キュウリ、シシトウ、枝豆、イモなど育てること、食することを楽しんでいます。

○市澤 豊（二〇〇四年博修了）札幌市南区

異常気象は、アマ菜園づくりに大打撃です。講義↓学会活動も諸々の交友活動もオンラインで人付合も希薄となります。

○佐藤 修二（一九七九年卒）札幌市北区



キャンパス内を走る循環バス



学内に残る今年の大雪の痕跡

たまに散歩で教育学部の前を歩きます。お世話になった教育社会学の恩師三人はすでに他界されましたが、当時の記憶と学舎のたたずまいはそのままです。

○佐々木 成行（一九六八年卒）北海道余市町

北星余市高校退職後も、

なんらかのかかわりで、生徒たちと交流していました。70才を過ぎてからは、となり村の放課後子ども教室のスタッフとして孫たち世代とかかわっています。

○小林 勇樹（二〇〇七年卒）長野県中野市

現在、教育委員会事務局に勤務しております。教育行政に興味のある方は、一度見学に来てください。

○細川 光法（一九九八年卒）札幌市東区

○大島 淳司（一九八五年卒）愛知県一宮市

治療法のない難病と診断され、定年まで二年を残し、退職しました。今は、毎日死に怯えながら過ごしています。

○阿部 剛康（一九九一年卒）北海道釧路市

通信制の我校でもタブレットが導入されてデジタ

ル化が進んでいます。でも、テストはペーパーで、テスト勉強にはちよつと工夫が必要みたいです。

○小島 忍(一九五六年卒) 北海道江別市

特別に長生きしていると
は思いませんが、間もなく88才になります。在学中の仲間や卒業後の仲間が、次ぎ次ぎと旅立ち、順番待ちの状態ですが最後まで脳に刺激を与え乍ら行き度いものです。

○橋爪 幸正(一九六一年卒) さいたま市北区
コロナ禍、海外旅行はもと



除雪が行き届いていたクラーク像の周囲

より、県外への国内旅行、さらには、混雑を避けて、電車にのる移動も、控えています。一日も早いコロナの終息を願うばかりです。

○逸見 勝亮(一九六六年卒) 札幌市中央区

齋藤さん、長い間幹事長の重責をお疲れさまでした。

○多米 豊(一九五四年卒) 札幌市西区

令和三年度会費二〇〇〇円送ります。

90才6ヶ月迄は診療を続けるつもりです。その後はわかりません。



三月末でもこの残雪量

○小池 清仁(一九八三年卒) 長野県富士見町

4年生の頃、竹田先生(現同窓会長)の授業。ロシア民謡を番外で教えてもらいました。先生いわく「君達は将来私の授業なんて覚えておらんだろう。だからこの民謡を教えるよ、せめて・・・」。真にその通り。

○牛島 康明(一九七四年卒) 千葉市美浜区

オリンピックのマラソンを、TV観戦して久々に北大キャンパスを楽しみました。

○小野塚 恒男(一九七八年卒) 新潟市中央区

「だより」をお送りいただき、誠にありがとうございます。学生時代にお世話になった竹田先生、逸見先生、所先生の名前を拝見してうれしくなりました。大学のキャンパスの動画は、いつも心を満たしてくれます。

○愛甲 知佐子(一九九二年卒) 札幌市中央区

家族が大学関係者ということもあり、大学内の近況はつかず離れず見聞きしております。卒業して30年、当時の物への懐かしさと、近代化(???)した北大を応援しています。
*ピンチのおとも、ありがたく拝読しました。



残雪の中の楡の木々

○大場 里美(一九九八年卒) 北海道伊達市

時は変わり、自分の子供達や教えた子供達が、コロナ禍の中、大学生活を送っています。私達の学生時代は氷河期が影を落としたとはいえ、自由に行動でき楽しく騒いで気兼ねなく一緒に過ごせる仲間がいたこと、懐かしく思い出します。皆が元気で無事乗り越えられるよう願うばかりです。

○国吉 昌晴(一九六六年卒) 東京都西東京市

旧職場を含め、人、社会とのかかわりをできる限り保ちつつ、毎日を大切に過

すことを心がけております。コロナ禍の終えんを祈りつつ・・・。

○坂本 仁彦(一九七〇年卒) 東京都世田谷区

会長並びに事務局の皆様、同窓会運営、誠に苦勞様です。感謝申し上げます。同窓生の皆様も卒業後の経過と共に、コロナ禍の為に出身学部への、求心力が希薄となつて来ているのでしょうか？

全ゆる会合がオンライン化され、直接、意見交換出来ないとの効果測定が、この状況の中で、学生諸士は様々な研究成果を発表し卒業されている事を知り、嬉しく思



春が来れば生協会館前に中古自転車の店が登場

います。この厳況下に出る努力、力を傾注して取り組まれて事に敬意を表します。一昨年の「教育学へのレッスン40」に引き続き、今回の「ピンチのおとも」は時宜を得た、混迷の中に在る児童達との素晴らしい会話集です。教授の皆様方の研鑽と努力を今後も期待致しております。

○早川 睦子（会員縁者） 北海道小樽市

夫早川和雄、昭和三十一年三月卒業が令和二年十二月に死去致しました。

永い間お世話になりましたこと、心より御礼申し上げます。

○忍 博次（一九五四年卒）北海道江別市

この世の時間、残り僅かになりました。会員短信も同期は多米さんだけでした。外出自粛も日々大事に生きてます。

○林（秋定）みき子（一九七七年卒）千葉県野田市

主人、階段から落ち、すごい臍腫瘍発見。入院先から見える景色、毎日俳句探究。会社時代の部下が店、手伝ってくれ、お客様たちインターネットにパンの宣伝してくれ、店再開。

○笠井 淳一（一九六二年卒）北海道伊達市

○佐々木 紀子（二〇〇四年卒）札幌市北区

コロナ禍の産科病棟、コロナ患者の対応自体、第5波ともなると皆、疲弊してきておりますが、出産直後からコロナで母子分離、家族分離となってしまう方達のため、もう少しがんばります。

○浅野 正典（一九七九年卒）大阪府東大阪市

J Aに果物と野菜を出荷して数年目、「すももはまだ」「イチヂクは出ないの」と出荷を期待する人がチラホラ出るようになりました。北大教育学部は、私の基礎をつくってくれたといつ



雪がすっかり消えたクラーク像前

も感謝しています。

折っています。

○後藤 隆之（一九七五年卒）札幌市中央区

一般会計の赤字決算に驚いています。僅かではあります、同窓会支援金も込みさせて頂きました。年会費納入者が増えることを

○徳勢 正昭（一九六五年卒）横浜市港南区

もうじき80才という頃、60年安保&その直後を一つ屋根の下（恵迪寮）で、すごした同輩連中の計報が続いている。その後、「坂の上の雲」を見上げながら会社の定年までを国内外で過ごし、70代前半、町内会でのボランティア活動を終え、目下は月1の謡曲（宝生）と太極拳で過ごしている。今にして北大で過ごせたことがよかったと・・・黒田先生の統計学、焼尻の子供たちを調べた『社会調査』、三宅先生の「実験心理学」、初めてのタイガー計算機は米国でのIBMのパソコンへとつながった。

さて、日本は長期の「下降期」！

「人新世」（気候変動ら）をどう乗り越えて行くのか、無理なのか・・・。

○高橋 吾一（一九九二年卒）札幌市豊平区

川田先生の乳幼児発達論研究室で「教師の子ども理解」をテーマに修士論文に取り組んでいます。様々な制約や現実的な問題はありますが、保育から営まれる教育の原点を、学校でも実現できるようにするような研究ができればと思っています。五十路を過ぎてからの本格的な学びは、若かりしときよりも格段に楽しいです。

○古川 和幸（二〇二二年博士修了）神奈川県横浜須賀町

毎日海を見ながら仕事に励んでいます。感染症が収束



夏が来れば中央ローンも緑豊かに



3月24日、学内には盛装した学生の姿が目立つ

したら、北大ピアガーデンで先生方とお酒が飲みたいのです。

○名越 晴男(二〇一四年修士修了) 北海道苫小牧市

コロナ禍で教育現場も厳しい状況とお聞きし心を痛めます。

まもなく八十路を歩む年令となり

週二回のパークゴルフで健康管理に努めています。

母校の発展と同窓諸氏のご健勝を祈念します。

○武岡 菜々(二〇一八年卒) 札幌市豊平区

転居連絡

○小松 秀樹(一九七九年卒) 川崎市宮前区

早くコロナが収まり、札幌で先生方、同期の仲間たちに会いたいです。

○加我 稔(一九七一年卒) 札幌市厚別区

御苦労様です。拙宅に会報が二通届いております。

妻、加我博子は5年前に他界致しました。

○高野名 雄介(二〇〇四年卒) 札幌市手稲区

#次号から振込先の銀行口座を会報に載せてもらえると有難いです。ネットバ

ンクから気軽に振り込めます。〈掲載します〓事務局〉

○奥野 彰(一九七五年卒) 札幌市北区

#大役、ご苦労様です。

○米倉 理輝(二〇一九年卒) 東京都杉並区

転居連絡

○伊藤 修司(一九七七年卒) 北海道江別市

中川功哉先生のもとで運動生理学を専攻し、体育教師(高校)になりました。以降高校四校(36年間)にお世話になり、定年後、8年



中央ローンの柳と水路

間経ちました。教員生活は、野球部顧問として楽しくすごさせて頂きました。今は「サンデー毎日」の生活です。

○志田 裕子(一九九二年卒) 札幌市北区

#転居連絡

○湯浅 香織(一九九七年卒) 東京都練馬区

転居連絡

○森 範行(一九七二年卒) 札幌市東区

不覚にも3月に足を骨折し、50日間入院しました。歩けることのありがたさを

しみじみ感じました。スクールカウンセラーの仕事も2カ月間お休みしましたが、6月から復帰しています。73才になりました。

○那須 杏奈(二〇〇六年卒) 札幌市中央区

転居連絡

○杉山 昌夫(一九八三年卒) さいたま市桜区

資金きびしい中、毎回「同窓会だより」ありがとうございます。毎回楽しく拝読させていただきます。

コロナが収束して、また札幌に行けることを心待ちにしております。

○丹下 雄二(一九八五年卒) 愛媛県松山市

岩本裕先輩、在学中は大変お世話になりました。自身の体調不良が長引き今さらで、すみません。ありがとうございました。

○伊東 順真(二〇一七年卒) 札幌市北区

「同窓会だより」いつも楽しく読まさせていただきます。

○鈴木 泰(一九七一年卒) 北海道北広島市

二〇二一年度から全くのフリーになりました。



木々の緑に隠れた古河講堂



人文・社会科学総合教育研究棟の入口

暇をもて余しています。

○細田 孝哉(一九八五年卒) 北海道北広島市

のびのびとした体験的で協同的な学びを大切にする私立小学校の北長沼で設置することが道学事課に了承されました。2023年4月開校予定で頑張っております。まあい学びのさと小学校です。

○政所 知恵(二〇〇二年卒) 北海道音更町

同窓会だよりを送っていただいております。結婚し「政所」となりました。住所も変わりました。「智恵」

の字は「知恵」が正しいです。変更のほどよろしくお願いたします。

○山形 剛(一九八五年卒) 北海道音更町

今春に道立高校教諭で退職し、再任用1年目を勤めています。日常生活はさして変わりありませんが、どういふ訳か早逝した恩師、西本肇先生のことを思い出すことが多くなりました。仕事上の場面で「先生だったらどう考えるだろう」と思い、それが指針となったことが何度かあります。

○瀧澤 真毅(一九九〇年

学部卒/一九九四年修士修了) 北海道帯広市
#かろうじて生きています。

○田中 稔久(一九八三年卒) 神戸市灘区

二〇二〇年三月で退職し今は時々短期の仕事をしてながら好きな事をして過ごしています。自由にできる時間ができて札幌に行けると思いきやコロナ禍で2年は延びてしまっています。「その日」を心待ちにしています。

○竹田 正直(一九五九年卒) 札幌市北区

皆様の「会員短信」はいつも楽しみにしております。コロナの中でも、齋藤彰幹事長と佐々木孝一幹事長代行が努力して下さり感謝しています。昨年5月8月と3カ月も初の長期入院をしました。同窓生の山本睦(むつみ)さん脚本のテレビドラマはいつも元気を与えて、深く考えさせて呉れます。皆さん、ぜひご覧下さい！

○秋元 義禮(一九七三年卒) 青森県弘前市

まだコロナが流行する前の話。横浜の孫娘(小5)が

「北大に入りたい。一人で札幌を見てくる」というので、こちらは青森から出発、札幌で合流し観光して回りました。その後受験勉強を始め、希望の中学に入ったようです。もしかしたらあと4年ほどで、また札幌で会える？今度は案内してもらおうかな・・・などと、コロナ禍(オミクロン株大流行)の中、楽しいことを考えるようにしています。

○廣岡 勇樹(二〇一六年卒) 大阪市旭区

転居連絡

日本総合医学会第15回全道大会

一般社団法人北海道健康フロンティア主催の講演会。寶金清博北海道大学総長が登場します。北海道大学や北海道大学校友会エルムも後援団体になっています

開催日 九月十八日(日)
会場 かでる27
開場 12:00 開演 13:00
参加料 二千元

寶金総長の他に似鳥昭雄氏(ニトリホールディングスCEO)、伊藤一輔氏(日本笑い学会北海道支部長・医師)が講演します。

問い合わせは主催者(〇一一―二一四―九〇六五)へ

訃報

謹んで哀悼の意を表します

連絡のあった方々について掲載します
()内は卒業年、敬称は省略します

・早川 和雄(一九五六年卒業) 二〇二〇年 逝去
・山岡 憲(一九七二年卒業) 二〇一八年五月 逝去
・織田 光之(一九五五年卒業) 二〇二〇年十一月 逝去
・加我 博子(一九九九年卒業) 二〇一六年 逝去
・川越 守(一九五六年卒業) 二〇一七年十二月 逝去
・大野 雅弘(一九五九年卒業) 二〇二二年五月 逝去

ウクライナに平和を

竹田 正直

(一九五九年卒)

(1) マカレンココの実践

世界的に状況の厳しさは、二月二四日のロシア軍のウクライナ侵攻によって明らかになっていきました。国際友好団体の会長として理事長とともに、翌二五日に、「ロシアは軍事侵攻を中止し外交による解決を！」の談話を発表し両国在日大使館へ届け、協会新聞にも掲載しました。また、ウクライナの人々への人道支援募金にとりくみ、在日ロシア人やロシア文化へのバッシングにも反対し、民間の草の根の交流は続いています。ウクライナは、沢山の優れた教育実践家や理論家、教育行政の指導者を生み出してきています。敗戦後の日本の学校教育、とくに子どもたちの集団生活の指導に一定の影響を及ぼしたアントン・セミョーノヴィチ・マカレンコ(一八八八〜一九三九)は、ウクライナのポルタワで「浮浪児・非行少年」といわれた子ども

もたち三千人の再教育に取り組み、『教育詩』などの実践記録を刊行し、世界的に注目され、日本でも沢山の著書が翻訳刊行されました。

一九八三年七月二八日(木)から八月八日(月)

まで、全国の大学や学校の教員と学生三〇人の参加でウクライナのマカレンコ博物館を訪ねるツアーが行われ、北大教育学部からも教員と学生が参加しました。コースは、新潟、ハバロフスク、キウウ、ハルキウ、ポルタワ、ハルキウ、サンクトペテルブルグ、モスクワ、ハバロフスク、新潟でした。

(2) ウクライナの街と人びと

ウクライナの首都キウウは、札幌を緑の街と言うのをためらうほどポプラ並木の多い美しい万緑の街でした。翌朝キウウの大円形市場へ散歩がてら行き、自家菜園で採れた野菜を売っている農民と話し、私は「日本から来ました」と、日本のど

んな街を知っていますか？」と尋ねると、「東京、広島、札幌」とかえされ、札幌冬季五輪の影響を感じました。

キウウからハルキウへは小型機の低空飛行でウクライナ穀倉地帯を空から堪能しました。ハルキウの街は、歴史的遺産が多く実に美しい街で、翌朝インツォリストホテルでの朝食後に、皆さんからバスでポルタワへ行き(南西へ少し戻り)「ポルタワに泊る予定を変更して、そのバスでハルキウにもどり、もう一泊ハルキウに泊まりたい」との要望が出ました。要望についてはモスクワ



ニーナさんのライラックと筆者、本年五月

の旅行社と交渉すると、「変更は可能ですが、ポルタワに行つて、やはりポルタワに泊まりたいと言つてもそれはできませんよ」といわれ、結局、ポルタワ泊にしました。ポルタワも、歓迎の中心になってくれた知人の教育アカデミー会

員・ポルタワ教育大学イワン・アンドレーヴィッチ・ジャジュン学長(後にウクライナ教育大臣)のおかげで、マカレンコ博物館その他の見学や懇談ができ、皆さんは計画通りで良かったとの感想でした。翌朝、五、六人で朝の散歩にて

庭仕事中の初老の男性に挨拶したら菜園に招き入れ梨を沢山くれました。二、三軒行き出がけの若い女性に挨拶すると、家の中まで案内してくれました。女の子はまだ床の中でびっくりしてましたが、突然の外国人を歓待し、自宅の全てを見せるこんな温かい広い心を持った人たちがいた。それほど温かい人々や美しい魅力的な街が、いまロシア軍によって子どもを含む多くの人々が犠牲となり悲惨な状況にあることは耐え難いことです。

(3) ニーナさんとライラック

また、旧ソ連科学アカデミー歴史学研究所ニーナ・ミトロファエーノブナ・カトウンツエヴァ教授は、北大教育学部をはじめ全国の若き教育史研究者のために、モスクワでの国立古文書館資料の収集がまだ困難な時代に、献身的に資料収集を支援してくれました。ニーナさんは、キウウの生まれで、志願してナチスドイツと戦うために戦車兵となり、隊長と結婚し、モスクワ防衛戦に参加して手を負傷し、

戦後、モスクワ大学を卒業して歴史学研究者になりました。いま、ウクライナの首都キウウの墓地に眠っておりますが、今を怒り悲しんでいることでしょう。北大教育学部での講演や研究交流のため招聘したさいに、彼女を自宅に招き、記念植樹してくれたライラックが、今年も拙宅の庭で美しく咲きました。世界に平和を！(日本ユーラシア協会『日本とユーラシア』紙二〇二二年六月十五日号二面参照。二〇二二年七月二二日記)

投稿募集

同窓会報に会員各位の原稿を募集します。テーマは、「在学中の思い出」「母校と現在の絆」「思うこと／考えたこと」などです。

四〇〇字詰原稿用紙五枚程度にまとめてください。それ以下でもかまいません。

締め切りは四月三〇日必着とします。紙幅の関係で繰り延べとなる場合があります。ご了承ください。

教育学部と北大童話研究会

佐々木 孝一

(一九七四年卒)

北大に童話研究会(以下「童研」と略)というサークルがあった(★1)。

サークルが発足するとき、学生たちの熱意が原動力になったことは言うまでもないが、熱意を発酵させる教職員の存在が見逃せない。童研の場合、この役割を担ったのが教育学部の教員たちであった。

童研では草創期から機関誌が発行されていた。今回「童話研究」と題した小冊子の創刊号(一九五六年四月)から第五号までを目にする機会を得た。会員だった白石(笠原)由美子氏が大切に保管していたものだ(★2)。ここに叙述されているサークル発足当時の関係者の思いを掘り起こし、教育学部との関連について考察していきたい。

(★1) 北大童話研究会は一九五五年三月発足、三〇数年の歴史を刻む。二一世紀を目前にして会員が集まらず解散のやむなきに至った。

(★2) 「童話研究」第一号(第五

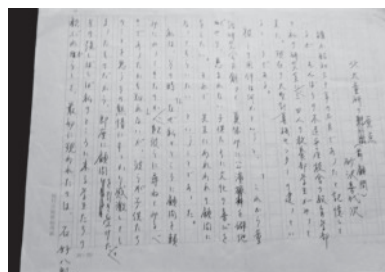
号は、他の関連資料とともに北海道大学文書館に寄贈された。閲覧が可能である。

童研発足の春(一九五五年)

前述のとおり童研の初期の歩みには教育学部の複数の教員がかかわっている。砂澤喜代次助教が顧問になったのははじめ、三宅和夫助教が会員に名を連ねている(のちに顧問になる)。齊藤秋男助教は「童話研究」創刊号に寄稿し、のちに顧問になっている(肩書はいずれも当時)。教員ばかりではない。会員名簿には幼稚園教諭や事務



「童話研究」創刊号



童研発足の頃を綴った砂澤の原稿

局の職員の名前が載っている。何より、童研の事務局(連絡先)は、発足後数年間、「学校教育研究室」になっていた(★3)。

砂澤は後年、発足の事情を次のように記している。

確か昭和三十年の三月頃であつたと記憶しているが、おんぼろの木造校舎の教育学部の私の研究室に、三、四人(★4)の教養部の学生がやって

来た。

彼らの用件は何かというのと、「これから童話研究会を創って、夏休みに公演を僻地でやり、恵まれない子供たちに文化の喜びを与えたい。それで先生にわれわれの顧問になつてもらいたい」ということであつた。

私は、その時「なぜ私のところに顧問を頼みにやってきたのか」と彼らに尋ねてみるべきであつたかもしれないが、彼ら

が子供たちのことを思うその熱情にすっかり感激してしまったものだから、即座に顧問を引き受けた。

(★5)

顧問を依頼に来た学生たちは、教授学を専門とする砂澤の講義を受講していたのかもしれない。推測の域を出ないが、それで顧問就任の依頼をしたのではなからうか。

顧問と学生達の間で活動の今後について協議が重ねられる。結果、当面の目標として、五月五日の子どもの日に大学村幼稚園で人形劇等の公演を行うことになった。砂澤の当時の住まいが「北二八条東三丁目」

のいわゆる大学村内であり、その伝手での旗揚げ公演であつたことは想像に難くない。

「特別に改まつて発会のセレモニーはなかったが、この学生諸君の共鳴者は、一人増え二人増えといった具合」(★6)で、この年の「子供の日」のデビューを目標として、人形劇、紙芝居、お話し、歌唱などの練習に、教育学部の空き部屋(★7)に集まる学生たちの数は十二、三人となつた。(★8)

学部の一室がサークル活動に提供されることなど、現在では考えられないこと

だが、学部の教員や幼稚園の職員が参加する学術研究団体の趣があつたから許可されたのかもしれない。ただ、人形劇の制作など公演の準備で出入りする多数の若者たちに、学部関係者はさぞ驚いたことだろう。

当面の目標とされた大学村幼稚園の公演が終わっても、その余波がつづく。テレビが普及する前、子どもたちが目にする文化財の一つとして、人形劇や紙芝居は絶大な威力があつた。学生だけでなく、社会人を含

めてアマチュアの劇団活動が目覚ましい頃でもあつた。

発足したばかりの童研であつたが、五月七日に青葉保育園、十四日には北大幼稚園と公演がつづく。夏休みには、当初から構想にあつた市内の小学校や後志地方の僻地公演が実現する。(★9)

夏休みの小学校公演は童研からの積極的な働きかけで実現したもののだが、こうした公演活動は達成感が強く出る。発足から半年、人形劇などの公演が活動の中心になったことで、その後の方向性が規定されたとも考えられる。

(★3) 「童話研究」創刊号二六ページ、「童話研究」第二号三七ページ「会則第一条」

(★4) 砂澤は、石好八郎・土肥次則・加藤多一の名を挙げている

(★5) (★6) 「火だね」(北大童話研究会OJB機関誌第九号(一九七六年九月発行))

(★7) 同窓会長の竹田正直の記憶では、北側に余裕教室があり城戸学部長の方針で、学生の自主活動に使用させていたという。

(★9) 「童話研究第二号」には、一九五五年五月十四日、北大幼稚園で公演となっている。また九月一五日(一七日、黒松内町上大成小学校で公演した

「童話研究」の創刊「童話研究」という会の機関誌



童研創立の頃のメンバー (★10)

が創刊されたのは一九五六年四月である。発足から一年間の各自の総括が綴られ、童研の概要と会員名簿が付けられている。概要はのちに会則に発展する。

概要の中で、目的及び活動を「本会は、童話・人形劇・紙芝居等の制作、発表、研究を通じて子供の生活を豊かにすることとしている。名簿には顧問の砂澤をはじめ、学生会員九名(うち教育学部三名)、教職員等社会人会員七名が載っている。

学生たちは創刊号に、サークル活動のあり方や自作の児童文学作品の発表、既存作家や作品の批評を書く。幼稚園の職員は、日ごろ接している子ども達の状態と童研の社会的役割について論じる。編集者の土肥次則は九月に実施した僻地公演について記している。土肥は人形劇の脚本を書き、演出を担う。石好八郎は後年、「独裁であったかもしれない(談)」と回想している。(★11)

サークル論では、伊藤友

晴の「みんなで考えたい童研のあり方」が注目される。

伊藤は会員を二つのタイプに分け、それが活動の方向性と力量を形づくると指摘する。子どもの中に入って、活動を共にする直接タイプと、「冷静に眺め綿密な計画を通して子どもの幸福を見つけようとする行き方」(★12)の間接タイプである。この両者がそれぞれの立場を主張することで、サークルのあり方をめぐる問題が発生したのだと考え、解決の方法を模索すべきだとした。

童研に関わった学部教員に三宅和夫と斉藤秋男がいたことは既に述べた。このうち三宅は、「童研に期待する」と題して一文を寄せた。「正直なところ私はそれが永続するのだろうか」と心配したといい、「立派に育っていくなら本当にすばらしいことだ」と期待していたとつづける。その上で、一年余の経過に積極的な評価を与え、「子どもたちの生活を文化的に高めてやり豊かにしてやること、一口でいえば子どもたちをしあわせにしてやることがこの研究会の使命で

しょう」(★13)とエールを送っている。

(★10) 前列中央に砂澤その左が笠原由美子

後列左側から土肥次則と加藤多一、

右側には教育学部の卒業生、高橋守や小林剛が並ぶ

(★11) 『北大童話研究会十年史』

一ページ(一九七二年第二版)

(★12) 「童話研究」創刊号七・九

ページ

「童心への郷愁か、次代への責任か」のちに顧問になる斉藤秋男が「童話研究」創刊号に寄せたのが、標題の一文である。千字に満たない短い文章だが、童研に集う若者たちの心を捉える刺激的な内容である。長くなるが、次に引用する。いま、子どもたちを取り巻いている文化環境は、あまりにもミジメすぎる。生活の貧しさだけでなく、精神の貧しさの中に子どもたちは落ち込んでいる。(たとえば少年少女の自殺)。私たちは、いのちを大事にする教育から一歩踏み出して、どんな悲しみ、どんな困難にも負けずに生きぬく意欲、こうした内面のたたか

い、う、ち、に目ざめさせる。をあたえる教育をこそ大切にしなければならぬ。(中略)

文壇の競争にやぶれた敗者の、童心への郷愁を結晶させた作品が、子どもたちにどうして「生きるはげまし」をあたえることができるか。童心への郷愁ではなくて、次代への責任を。子どもたちに幻想(現実からの逃避)をではなくて理想(科学的な夢)を。

教育学を学ぶ若ものの童話研究会の究極の目標は、文学作品の芸術性と思想性とはなにか、その統一作用としての教育性とは?の問題を解いていくことにある。(★14)

いささか煽情的な文章であるが、「少年少女の自殺」が社会問題になっていた頃(その状況は程度の差こそあれ七〇年後の今日にも連続している)であり、教育の役割の重要性が叫ばれていた。

児童文学界においても、大御所と云われる人々の戦争協力の総括が不十分だったし、作品も貧弱であったことは否めない。「○○か、

○○か」という対立構造が、幻想と理想にふさわしいか、また幻想と現実逃避、理想と科学的な夢と対置するのが妥当かどうかは議論の余地がある。また千字足らずでは展開も不十分であった。それでも結びの百字余りは、普遍的な響きを持ち童研に集う若者たちへの期待をにじませる。

それにはサークルのひとりひとり、創造的な人間であらうとする努力のなかで、日本の、世界の遺産に新しい価値を発見していく仕事、本当の研究の内容となるべきであらう。――五六、三、二八夜――(★15)

この一文への反響は大きかった。『北大童話研究会十年史』(以下『十年史』と略)では、「何年かして大論争を展開することになる論文」(★16)のひとつだとしているが、反応は即座で、しかも発生した渦は大きかった。

入会したばかりの笠原由美子はこれまでの童話(児童文学)体験をもとに「とまどいを感じた」と書き、大学院生会員の小林文男は、中国の状況を紹介しながら

わが国との比較を試みている。斉藤自身も展開を密にするため中国の事例を挙げている。(★17)

ただ笠原が戸惑ったように、創刊号の斉藤の叙述は、

煽情的であり一面的であった。すでにファンタジーという児童文学の分野が確立されていたし、宮沢賢治や新美南吉などの作品が知られていた。仮想世界に仮託された現実が、子どもたちの「生きる力」になることは充分考えられた。海外に目を向ければ、英国のトールキンやC・S・ルイスの作品群は十分期待できる内容を持っていた。

斉藤の提言は、その後の童研の活動を受け継いだ若者たちに一定の方向性をもつて受け入れられる。『指輪物語』や『ホビットの冒険』、『ナルニア国物語』などの邦訳が出版されても、また佐藤さとるやいぬいとみこの創作児童文学が広く読まれるようになって、基本的な方向として修正されなかった。一種の教条として活動理論の中核に位置付き続けたのである。

「児童研究」創刊号一～二ページ
(★14) 同上
(★15) 同上
(★16) 『十年史』二ページ(一九七二年第二版)
(★17) 「児童研究」第二号一六～二二ページ

サークル論の提起と波紋

「児童研究」はその後、

年二回のテンポで、第三号(一九五七年十一月)、第四号(一九五八年四月)と発刊を重ね、第五号(一九五八年十一月)で「いっしょ」と改題する。この誌名についても斉藤の影響が見え隠れする(「児童研究」第二号)(★18)。二年目に入ると、会則が整い会員が増加する。役員が選ばれ、

会員の多様な要求に伴い、「児童文学研究グループ」「児童心理研究グループ」「人形劇研究グループ」の三グループに日常活動を分割する。当初、「便宜的なもの」「重複を可とする」としていたが、会員の世代交代と共に固定化し、グループ間の意識の違いが発生する。加えて学生運動の高揚がサークル活動を直撃する。

『十年史』は、「(三年目の活動が)現在の童研(一九六五年ころの)引用者」

の基礎であり、又、多くの教訓を持って」といるとし、高橋守や小林剛(いずれも教育学部の卒業生)のサークル論を紹介する(★19)。砂澤はこうした傾向に懸念を示しながら、次のように記す。

一人一人の会員が自分の問題としても、グループとしても、また会全体としても考えておかなければならないのは、「何を目的とする」「何を内容とする」「どんな方法による」——児童研究であるかということである。(中略)私は内容と方法の与えられない目的は、どんな場合にも意識過剰になってしまう(と考える)(★20)。

この砂澤の一文の直後の誌面に載せられたのが、皮肉なことに「民主主義的な児童文化の創造と普及のために」と題する「総括と方針(案)」であった。学外に目を向ければ、勤評や警職法が話題になり、世情の騒がしい時であった。状況はサークル活動にも影響を与え、活動の存立にも関わる課題を提起した。

子どもの生活に根ざした

童研の活動は、会員の中に実践を通して多様な意識と感覚を醸成した。そこを基礎に、「民主主義的な児童文化の創造と普及」の命題に結合させるためには、活動を共にする過程で、丁寧な説明と手順を踏んだ展開をする必要があった。『十年史』では、学生運動への主要サークルメンバーの引き抜きがあったとしている(★21)。そうした中では会員の間の意識の乖離が拡大していったと考えられる。

童研と教育学部との関わりは、一九六〇年代に入ってから次第に希薄になっていく。砂澤は顧問をつづけ、求めに応じて童研関連の文集に寄稿する。その時、しばしば発足当時の問題意識を取り上げ、忘却に警鐘を鳴らした。主体的に関わる機会

はほとんど無くなったが、離れた立場から見た率直な思いを綴った結果であった(★22)。

一九七〇年代に活動の主体となった我々世代はそれを正面から受け止められなかった。

(★18) 斉藤は「児童研究」第二号の論考を「火だね——次代への責任について」とした

(★19) 「児童研究」第三号所収
(★20) 「児童研究」第四号一～二ページ
(★21) 『十年史』九ページ(一九七二年第二版)
(★22) 「どうけん五〇号」所収四～七ページ、「童研誕生のあころ」(一九七一年五月)

*文中は原則、敬称等を省略した



夏季公演から戻った童研の公演班 (1970年代)

心と身体を拓く体育 そして和太鼓を通しての生命の躍動へ

渡部成江(旧姓宮島)

一九九五年教育学部健康教育ゼミ卒、
一九九七年教育学研究科修士課程修了、
一九九九年同博士課程中途退学

このたび、竹田正直先生からのご推薦と須田力先生からのお声がけがありました。大変お世話になった諸先生に感謝し、学生時代から今の探究に至るまでと近況を報告させて頂きます。

(1) 健康教育ゼミでの出会い

博士課程二年修了後に、

札幌市立高等専門学校(当時、日本で唯一の芸術とデザインの専攻)に保健体育の常勤講師として赴任し八年、札幌高専の閉校と、新しいタイプの三部制・単位制・定時制の市立札幌大通高校の開校にあたり赴任し、現在十五年目になりました。健康教育ゼミの森谷先生や福地先生に出逢わせて頂



筆者の近影

いたのが、もう三十年も前になります。心から、身体から、環境から全人的な健康へのアプローチができる健康教育ゼミで、十人の同期が十人十色の興味関心を展開させていき、このことがとても視野を広げていたのだと思います。森谷先生や福地先生は自由な学生達の興味を制限することなく受け入れてくださり、広い懐の中で好きな探究を精一杯させて頂けたことは、今も力強く生きており心から感謝しております。

(2) 温泉気候保養学

卒論を書く時期、全人的な健康へのアプローチをしているドイツの温泉保養地での健康づくりを知り、大変感銘を受けました。その後、森谷先生が日本の温泉医学の大家である北大医学部名誉教授の阿岸裕幸先生をご紹介くださり、約一ヶ月間のドイツでの温泉気候保養地学研修に参加することができました。ドイツでの温泉療法、気候療法、運動療法、食事療法、心理療法、芸術による癒しなど、自然を活かし社会システムに基づいた医療・健康増進

が根付いていることに大変驚きました。

修論では、生理心理学のアプローチによる「ラベンダー湯入浴のリラクゼーション効果」を研究、ドイツに留学することを目指してアプローチし続け、十一ヶ月間のドイツアルプスでの地形療法研究プロジェクトの仕事をする契約を結ぶも、なかなか労働ビザが下りず、不況だったドイツでは外国人に労働ビザを出すことが難しくなっていたようで、語学研修中に労働ビザ不認定がわかり帰国。帰国後も森谷先生のご指導のお陰で、「海水温浴」「天然温泉浴」など入浴の生理心理効果の実験研究をさせて頂きました。地道な実験と分析、粘り強く論文を執筆することから、物事の筋をたて説得力をもって他者に表現していくことの大切さを学ぶことができたことは生涯の宝です。本当にこの経験がなければその後の人生も違っていたかもしれないとも思います。

(3) 「心と身体を拓く(開く)教育」

大学時代は、北大基礎ス

キー部と社会人チームで選手活動に明け暮れていましたので、自分自身の身体と心の状態や使い方を向上させることについて独学での探究していました。至んだ身体を試行錯誤で整えていき、トレーニングを積むなかで、競技力が大きく飛躍しました。自分の身体や心を良い方向に向けることができるという体験が、私に大きな喜びと人間の可能性への希望をもたらしました。この経験が、私が最も興味を持つ「自然の法則にそった心と身体の探究」というライフワークに繋がりました。

(4) 身体教育にたずさわるものとしての想い

二〇一六年二月に「実践交流ラウンドテーブルNARA二〇一五 分科会『身体学習』のパネリストとしてご招待頂きお話をさせて頂いたときのレジュメから『身体教育にたずさわるものとしての想い』を書いたものをここに掲載いたします。

「『出逢わせて頂いた親愛なるあなたへ』
あなたの代わりに誰もあ

なたの人生を歩んではくれません。あなたがあなたの人生の主人公です。あなたは、いつ何時でも自分の心と身体とともにありますね。あなたの身体はあなたが一番感じられるから、あなたが自分の身体に意識を向けて体感し、どうしたら心身が快適なのか、良くなるのか、悪くなるのかを実験してみましよう。あなたが日々刻々変わる心身に對し、『今日はこうしてみよう!』と自分で決めて行動を起こし試行錯誤をすればするほど、あなたは自分の身体をわかるようになってきます。ガイドである私は、あなたの身体と心に聴きながら、あなたが望む素晴らしい景色を観てもらいたいと願って寄り添い、時に楽しく、あなたはきっと素晴らしい景色を観ることができるとその理由もお伝えします。私自身が感じるワクワクするような景色の興奮をあなたにお伝えして、共有することもあるでしょう。

身体を身体ごと『わかる』には時間がかかります。でも、あなたが全身で自分の不調や壁を乗り越え



伝統を学びつつ新しい芸術表現をめざす

て好ましい方向に変化させた喜びは、きっと大きな『自信』となり、次の発見が楽しみで仕方なくなるかもしれません。あなたが全身で試行錯誤して克服した体験は、生涯忘れ得ない財産となつて、セルフケアと自分の身体を自在に扱っていくための基盤となるでしょう。自分の身体を知り、自在に扱えるようになってくると、日常生活や仕事での身体づかい、運動・スポーツ、身体表現、心の持ち様、といった人生のあらゆる場面に応用可能で、自分自身を活かす一助となることでしょう。自分のことがわかってくると、おのずと他者の身体や心に気付けるようになります。

自分の心身の調和は他者との調和につながり、他者に心を開いてあなたは人々の中で生かされるでしょう。私たちを生かす宇宙（自然）の法則に沿った身体への働きかけは、『自然体』合理的『健康的』美しい』身体に向かわせてくれるでしょう。ガイドである私も、この途方も無い奥深い（身体）宇宙の法則を、これからも身をもって探究していきます。身体には本来『調和』があるから『希望』があります。今日も、あなたのどんな変化も発見し、素晴らしい喜びをお伝えします。」

この想いは今も変わりません。

（5）和太鼓に繋がる
札幌高専での体育の身体表現として一流の師匠のもと和太鼓を始め、大通高校にて和太鼓・伝統芸能部を創部。心身の探求、日本人の心と身体づかいや意識を知り、伝統を学びつつ新しい芸術表現をもとめて生徒と共に舞台を創出。和太鼓等を通して様々な国や地域の方々と心の交流を大切に活動させて頂いています。

昨年と今年の五月～九月、二回に渡りオンラインで「太鼓芸能集団 鼓童 太鼓の学校」にて世界の第一線で活躍する鼓童メンバーの方々から、「くらす・つくる・まなぶ」という活動理念に基づき、身体作り・所作・基礎稽古・曲の稽古・生活や心の持ち方など奥深い世界を学ぶことができ、多くの気づきと自身の成長を感じる本当に幸せな経験をさせて頂いています。

年齢を重ねた今、人生の目的は「愛を出し切る」と、「人生の目標は「日本最高齢の何か！になること!!（人間の可能性と希望を体現したい）」です。私の根っこをつくって下さった北大教育学部の先生方や同期・先輩・後輩の皆さんに感謝しております。再会したいですね!!

学部だより

フードバンク（第二弾）

コロナ禍が長引き、学生生活にも大きな影響を与えています。支援の一環として、教員有志によるフードバンク（第二弾）が、二〇二一年十二月九～十五日に行われました。米やレトルト食品・日用品が用意され、約二五〇名の学生、院生が利用しました。

年会費納入のお願い

会員の皆さまには日頃から同窓会活動に深いご理解とご協力を賜り、心よりお礼申しあげます。

さて北海道大学教育学部同窓会の運営は、その財政基盤のほとんどを会員の皆さまの年会費に依存しております。円滑な同窓会活動を推進するため、年会費の納入にご協力くださいますようお願いいたします。同封の払込取扱票で郵便局の窓口またはATMで納入ください。手数料負担はありません。

なお次の銀行口座へ振り込みが可能です。この場合、振り込みに関する手数料等は振込者負担になりますので、ご了承ください。

・北海道銀行 南一条支店
普通貯金 一〇七三九九七

北大教育学部同窓会
事務局代表 佐々木孝一

・ゆうちょ銀行 二七九（ニナナキユウ）店
当座 〇〇〇四三二九
北大教育学部同窓会 代表 佐々木孝一

同窓会は、あなたのいまに
母校の香りを届けます

北海道大学教育学部同窓会

会務報告／会計報告

2021 年（令和 3 年）度会務報告

- ・北海道大学校友会エルム会総会（全学同窓会）
web 会議 書面審査による議決（2021 年 6 月 18 日）
- ・『同窓會だより第 39 号』の発行、配布
2021 年 8 月 31 日付で発行
学部頒布の『ピンチのおとも』とともに配布
会費の納入および近況報告用のはがきを同封
- ・北海道大学校友会エルム会（全学同窓会）理事会
オンライン会議 竹田正直会長出席（2022 年 1 月 26 日）



- ・2021 年（令和 3 年）度教育学部・教育学院学位記授与式
竹田会長の祝辞を印刷物で全卒業・修了生に配布
『同窓會だより第 39 号』と同窓会入会について案内文書の配布
- ・教育貢献賞の授与
松林あかねさんへ竹田会長より授与
- ・学年幹事 松林あかねさん 栗林 健（つよし）さん
竹田会長、佐々木孝一幹事長代行出席
(2022 年 3 月 24 日)

2021 年（令和 3 年）度会計報告

一般会計	金 額	説 明
繰越金	△ 119,926	①
借入金	8,123	4～9 月の事務局活動費 ②

収入

会費	492,000	現年度分 246 人
会費	12,000	過年度分
同窓会支援金	652,000	114 人
払い込み手数料	9,612	特別会計負担分
合 計	1,165,612	③

支出

借入金返済	127,659	特別会計に返済 ①＋②
会報等発行経費	125,290	第 39 号ほか振替用紙等
振込手数料／通知料	48,060	会費納入等
料金後納払い	4,368	近況連絡のはがき
通信連絡費	10,316	
卒業式協力費	5,000	卓花
事務局活動費	15,850	
消耗品費	8,390	
印刷費	670	コピー等
合 計	345,603	④
収入－支出	820,009	次年度繰越金 ③－④

特別会計

収 入

繰越金	168,090	貸付金返済分を含む ⑤
基金収入	186,000	68 人／ 93 口 ⑥
基金合計額	354,090	⑤＋⑥ ⑦

支 出

教育貢献賞賞状	17,820	受賞者 1 名
教育貢献賞副賞	20,000	
払い込み手数料	9,612	特別会計負担分
事務局活動費	5,000	
合 計	52,432	⑧
基金合計額－支出	301,658	次年度繰越金 ⑦－⑧

△編集後記▽

「同窓會だより」第四〇号をお届けします。

紙面に学内の三月末の写真掲載しました。三月のおわり頃になっても、雪が残り学生たちの歩く歩道のスペースはこの有様です。

この冬、ＪＲ北海道は三回、一〇日間ほど全面運休になりました。路線バスは、道路の除雪が追いつかず運休、幅員が狭くなって渋滞に悩まされました。加えてコロナ禍。外出不可の引きこもりの状況が厳しく長い冬と相乗しました。

北海道大学童話研究会（以下・童研）について、一文を書きました。きっかけになったのが、笠原（現姓・白石）由美子さんとの出会いです。私がよく行く日本棋院北海道本部の碁会所で声をかけられたのです。「私は童研初期の会員だった」と言っています。

古い資料や写真、在学中の記念品などを見せてくれました。白石さんは医学部薬学科の学生だったので、小さい頃から童話に親しみ、創作を手掛け、作品が賞を得るといった経験が

持っていました。北大に入って、童研の存在を知りすぐに入会したというのです。

私がこれまで知ろうとしてわからなかったのが、七〇年前の童研発足の状況でした。その輪郭が、一部とはいえ史料とともに開示されたのです。発足時には教育学部の教員が大きくかわり、熱量の増進に寄与したことも分かりました。

このことを本紙で取り上げたい、七〇年代に童研と教育学部に在籍した私に課せられた課題のひとつと考えました。同窓会長に本紙掲載を相談したところ、快諾を得ることができました。発足から三〇数年の歴史を刻み、多くの若者たちの精神の糧となり、内面の成長に寄与したサークルでした。発足時のＯＢの幾人かは健在です。本稿に対する意見もあるかと推測します。当時の学部生にも光景の断片が残っているかもしれせん。記憶の中から様々な思いが出てくることを期待します。

大学を訪れる機会が増えました。その美しさに心が奪われるばかりです。（さ）

北海道大学 校友会エラム

北海道大学 関係者の皆様のご登録をお待ちしております

※平成28年6月1日以前に基礎同窓会に加入されている方は会費不要です。



北海道大学関係者みなさんが
ご入会いただけます。

📄 会員登録は以下URLからフォームにアクセス



<https://www.alumni-hokudai.jp/>

会員登録

をクリック！



会員登録が簡単になりました！

「お名前」「メールアドレス」「電話番号」
「入学 or 卒業 or 所属情報」のみでOK

郵送でのお申し込みをご希望の方は事務局までご連絡ください

北大との絆をつなぐ一枚



三井住友カード株式会社 北海道大学カード

三井住友専用ページから申込み

三井住友カードサイト

カードをつくる

カード一覧

北海道大学カード



<https://www.smbc-card.com/nyukai/affiliate/hokudai/index.jsp>

本学卒業生、教職員の方限定

北海道大学カード

北海道大学カードが北大生を支援する仕組み
北海道大学カードへの入会による取次手数料及びカード利用額に
じた提携手数料がカード発行元の北海道大学校友会エラムに還元さ
れ、これを「北大生支援資金」として北海道大学に寄附し、「奨学金」、
「留学支援金」、「課外活動への費用援助」等に役立ててもらふこと
としています。



北海道大学 校友会エラム
HOKKAIDO UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION ELM



北海道大学校友会エラム事務局

〒060-0809 札幌市北区北9西6丁目 国立大学法人 北海道大学 百年記念会館内

TEL:011-706-2101 FAX:011-706-2010

📧 <https://www.alumni-hokudai.jp> ✉ kouyukai@general.hokudai.ac.jp